質問書に対する回答４２

件名）常磐自動車道　宮田川橋床版取替工事

番号	質問箇所	質問事項	回答
1	特記仕様書	特記仕様書　２６－６ＰＣ鋼材引張 ２６－６－１種別において、単価表の項目は「ＰＣ鋼より線（○）Ｓ」となっていますが、区分内容に「ＰＣグラウトの施工」の記載があります。土木工事共通仕様書（令和６年７月）９－５ＰＣ鋼材引張　９－５－６支払には、「ＳはプレグラウトＰＣ鋼材を使用したものを示す。」と記載があることから、プレグラウトＰＣ鋼材を配置して、その後ＰＣグラウトの施工を行うということでしょうか。また、定着具は防錆仕様を想定されているでしょうか。	プレグラウトPC鋼材は使用しないため、正しくは「PC鋼より線（○）」となります。 また、定着具の防錆仕様は想定していません。 後日交付図書を訂正いたします。
2	特記仕様書	特記仕様書　６．工事用地に関する事項 において記載のある日立中央IC資材置場については、ヤードの養生に要する費用は設計変更協議の対象となるでしょうか。	ヤードの養生については不要と考えています。 なお、現地確認の結果監督員が必要と認める場合のみ設計変更協議の対象とお考えください。
3	設計図、金抜設計書、数量計算書（設計業務成果品）	設計図、金抜設計書において、ＰＣ鋼材引張 ＰＣ鋼より線（1S21.8）Ｓ　の数量が6,419kgとなっていますが、数量計算書（設計業務成果品）を確認すると鋼材延長に掛ける単位質量が1S15.2の1.101kg/mとなっています。正しくは1S21.8の単位質量2.482kg/mを掛けると、14,470kgとなると思われます。これは設計変更協議の対象となるでしょうか。	設計図面の数量を確認したところ誤りがありました。 正しくは、PC鋼材引張　PC鋼より線（1s21.8）の数量は以下のとおりとなります。 ・宮田川橋　下り線　A1～P2　3691.6kg ・宮田川橋　下り線　P2～P4　8779.8kg ・宮田川橋　下り線　P4～A2　1998.0kg 後日交付図書を訂正します。